

交渉速報

J R 貨物労組本部業務部

2011年11月17日

No.11

2011年度年末手当妥結！！

基準内賃金×1.57ヶ月

2011年度年末手当交渉最終報告

中央本部は、年末手当獲得に向け断続的に交渉・折衝（トップ交渉を含む）を行い、職場からの闘いと結合し、最後まで要求実現に向けて粘り強い闘いを展開してきました。本日19時25分より年末手当の最終交渉に臨み、席上会社は基準内賃金×1.57ヶ月分とする回答を示しました。

回答にあたり会社は、①今年度収入が大幅に落ち込み中間決算△17億円を計上した。②残された期間を黒字達成に向けて全力で取り組む。③仮に今年度赤字決算となれば国交省を含めた多方面から厳しい指摘を受ける事になりかねない。そのためにも黒字達成が必達であるとの考え方を示しました。

これに対し中央本部は、①申し入れの時からおかれている状況が厳しいことは承知している。②JR発足25年を迎えるにあたって貨物と旅客との待遇の差が歴然としているが、経営陣は意識して差を埋める努力をするべきである。③今後厳しい状況の中で労使が黒字に向かっているかなければならないが、経営陣はより一層の収入拡大に向けて全力を挙げるべきである。④第三者委員会に対しても我が社の主体性を貫き、主張すべきことは主張するべきである。⑤会社は、労使関係に対して今後も緊張感を持って信義誠実に基づき対応をしていくべきである。⑥組合員の期待からすれば、満足できない額であるが年末手当について妥結することとしました。

組合員の皆さん、最後まで職場からの要請行動・FAX行動・激励行動・炊き出しなど創意工夫した取り組みで今手当交渉を支えていただいた事に対して感謝を申し上げます。会社の無責任な経営姿勢を糾し、雇用と生活を自らの手で守るため、具体的な闘いを今後も職場から創り出そうではありませんか！中央本部はその最先頭で奮闘することを明らかにし、年末手当交渉の最終報告とします。

以上